

ADVANTEST®

2023年度（2024年3月期） 第2四半期決算説明会

2023年10月31日
株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ご注意

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。



```
...mirror_mod.mirror_object = ...
operation == "MIRROR_X":
mirror_mod.use_x = True
mirror_mod.use_y = False
mirror_mod.use_z = False
operation == "MIRROR_Y":
mirror_mod.use_x = False
mirror_mod.use_y = True
mirror_mod.use_z = False
operation == "MIRROR_Z":
mirror_mod.use_x = False
mirror_mod.use_y = False
mirror_mod.use_z = True

...selection at the end -add ...
..._ob.select= 1
..._ob.select=1
...context.scene.objects.active
...["Selected" + str(modifier_...
...mirror_ob.select = 0
..._ob.context.selected_ob

...
...OPERATOR_CLASSES
```

2023年度第2四半期決算報告

経営執行役員

CFO(Chief Financial Officer) & CSO(Chief Strategy Officer)

経営戦略本部長 三橋 靖夫

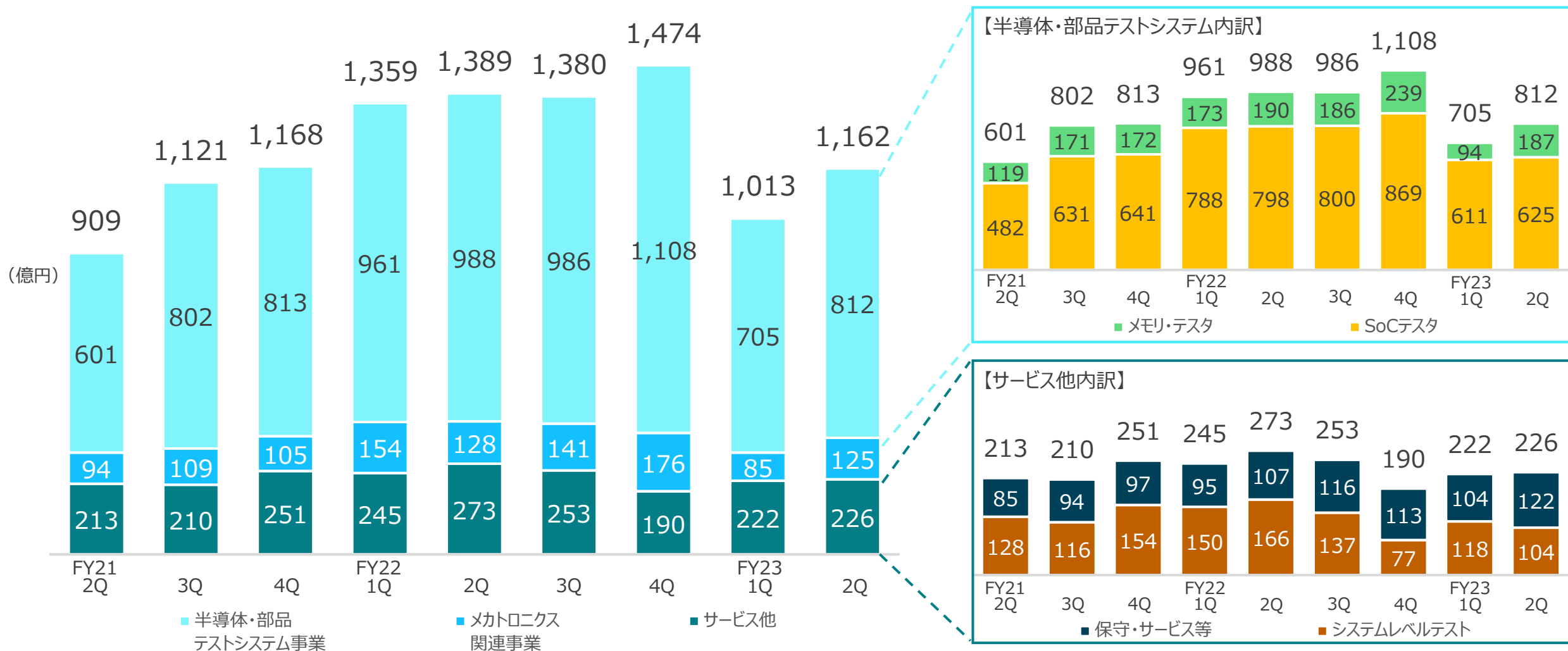
四半期業績推移

(億円)

| | FY22 | | | | FY23 | | | | | | | |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|--------|----------|--------|--|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | | 前期比 | | 前年同期比 | | |
| | | | | | | 予想 | 実績 | 増減額 | 増減率 | 増減額 | 増減率 | |
| 売上高 | 1,359 | 1,389 | 1,380 | 1,474 | 1,013 | 1,127 | 1,162 | +150 | +14.8% | -226 | -16.3% | |
| 売上総利益 | 789 | 799 | 816 | 787 | 510 | - | 580 | +71 | +13.9% | -218 | -27.3% | |
| 売上総利益率 | 58.1% | 57.5% | 59.1% | 53.4% | 50.3% | - | 49.9% | -0.4pts | | -7.6pts | | |
| 営業利益 | 448 | 431 | 412 | 386 | 143 | 223 | 210 | +67 | +47.2% | -221 | -51.3% | |
| 営業利益率 | 32.9% | 31.1% | 29.9% | 26.2% | 14.1% | 19.8% | 18.1% | +4.0pts | | -13.0pts | | |
| 税引前四半期利益 | 484 | 468 | 377 | 384 | 130 | 222 | 203 | +74 | +57.1% | -265 | -56.5% | |
| 四半期利益 | 365 | 347 | 286 | 306 | 92 | 168 | 167 | +75 | +81.9% | -179 | -51.7% | |
| 四半期利益率 | 26.8% | 25.0% | 20.8% | 20.8% | 9.1% | 14.9% | 14.4% | +5.3pts | | -10.6pts | | |
| 為替レート | 1米ドル | 124円 | 135円 | 144円 | 133円 | 135円 | 135円 | 142円 | 7円 円安 | | 7円 円安 | |
| | 1ユーロ | 134円 | 139円 | 144円 | 142円 | 146円 | 150円 | 156円 | 10円 円安 | | 17円 円安 | |
| 1株当たり配当額*1 | - | 65円 | - | 70円 | - | 65円 | 65円 | - | | - | - | |

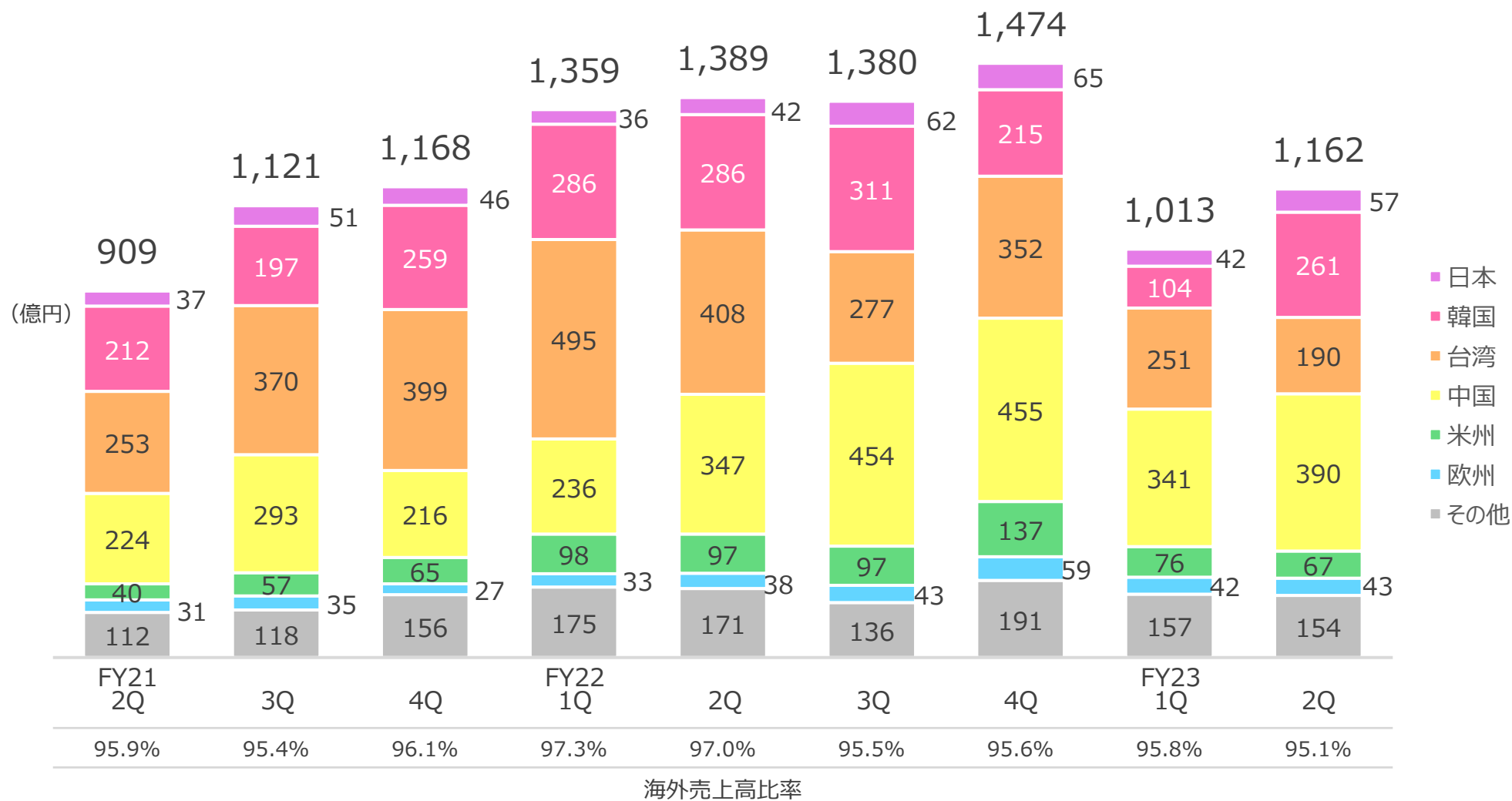
*1:当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。FY22およびFY23 2Q末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております

四半期売上高 事業セグメント別

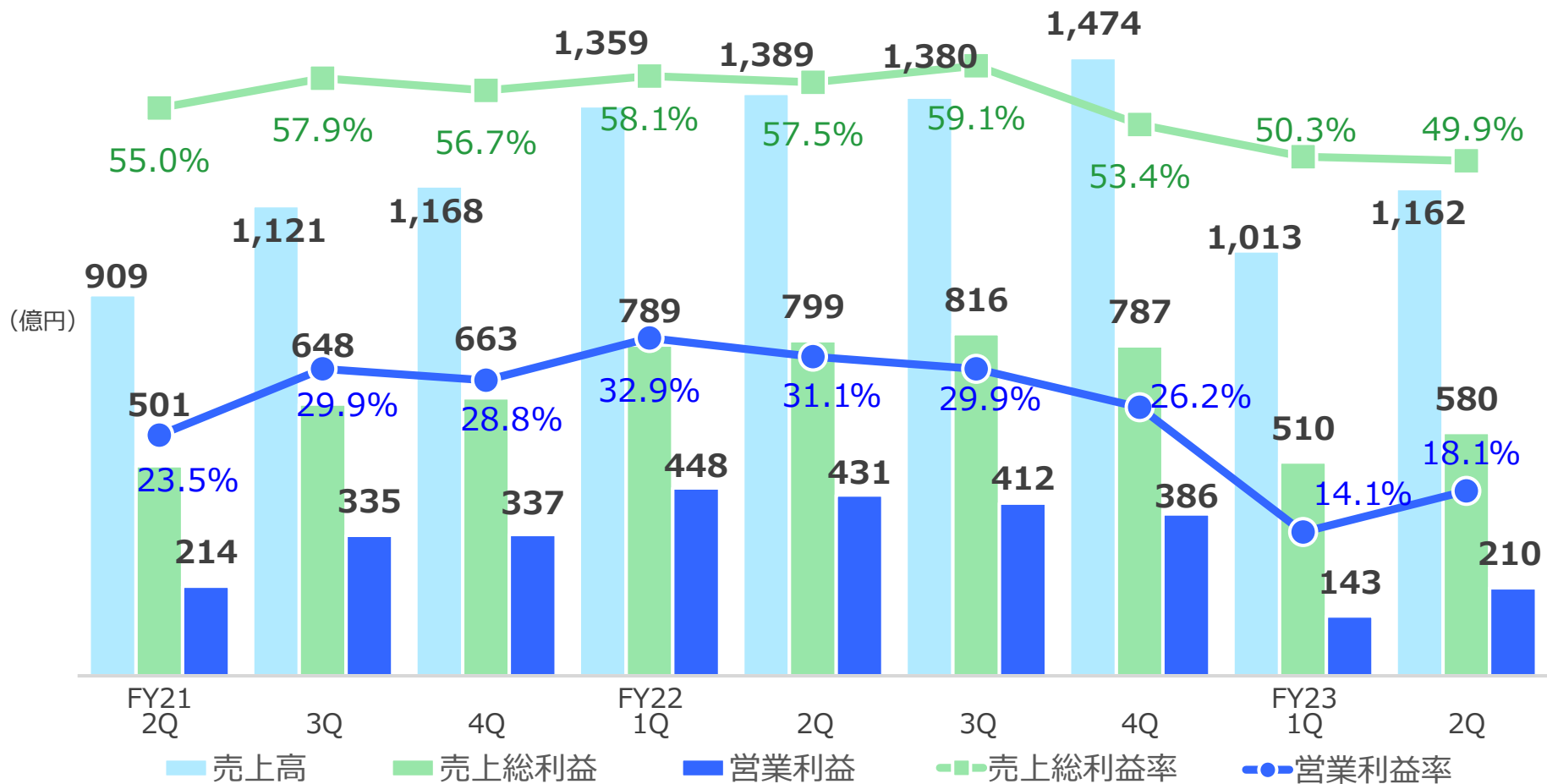


*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

四半期売上高 地域(出荷先)別



売上高/売上総利益/営業利益

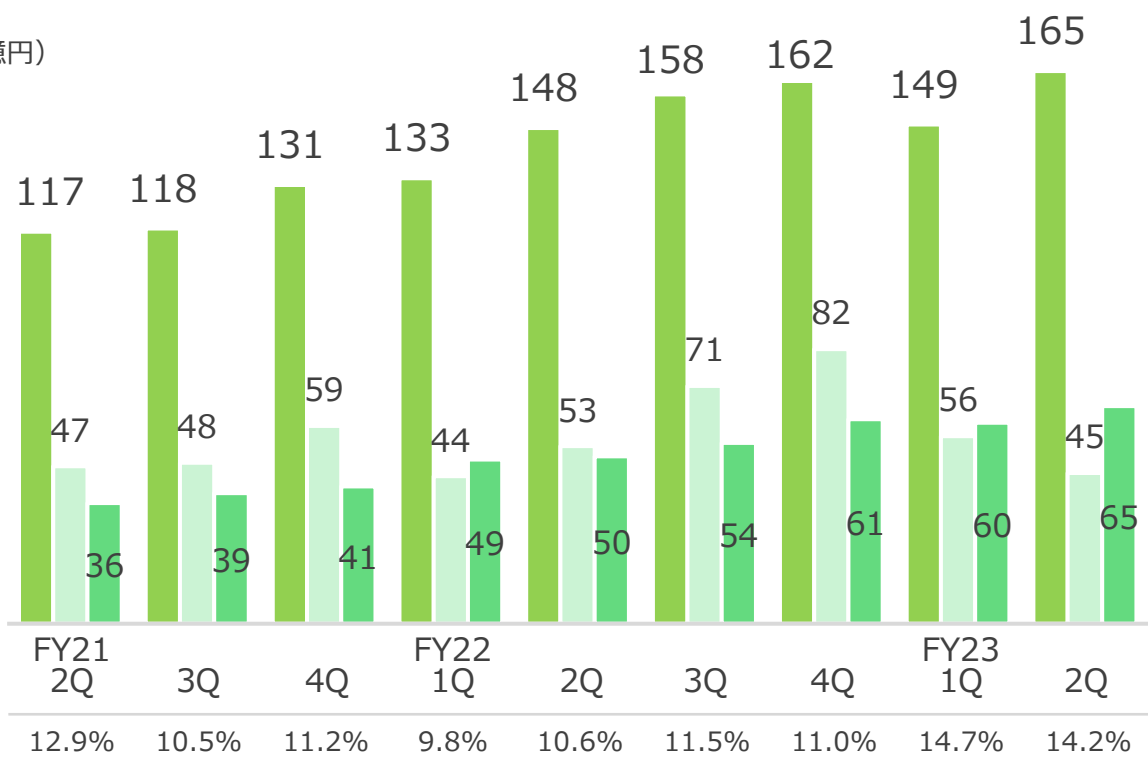


投資等/キャッシュ・フロー

<投資等>

- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費

(億円)

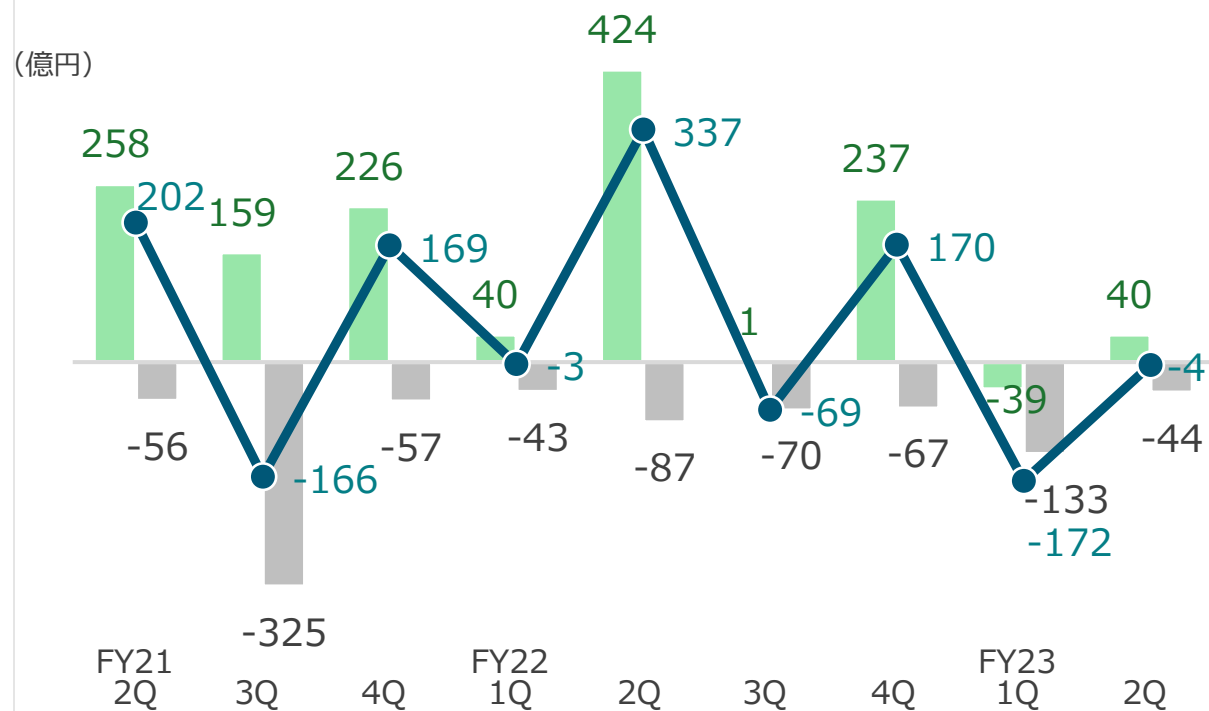


研究開発費売上高比率

<キャッシュ・フロー>

- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー

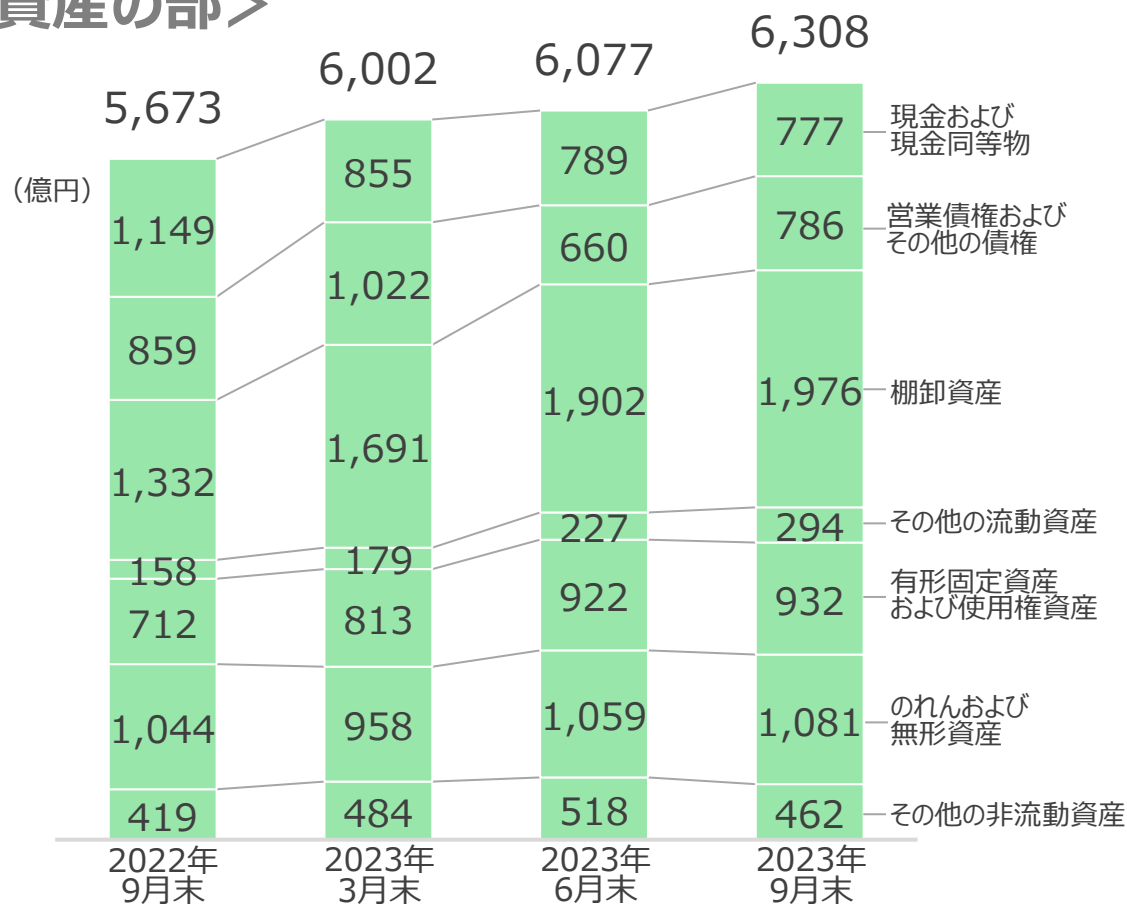
(億円)



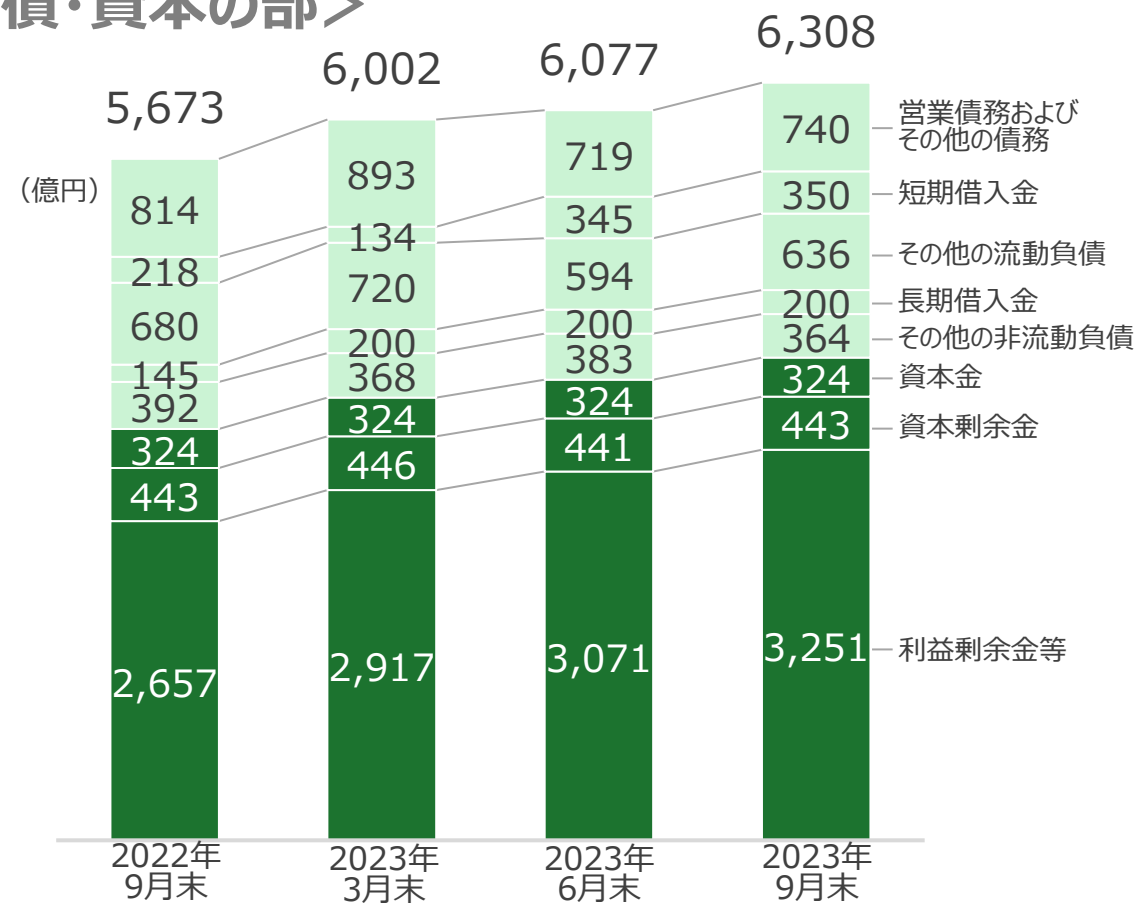
*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

連結財政状態

<資産の部>



<負債・資本の部>



| | | | | |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|
| 親会社の所有者に 帰属する持分 | 3,424 | 3,687 | 3,836 | 4,018 |
| 親会社所有者 帰属持分比率 | 60.4% | 61.4% | 63.1% | 63.7% |

2023年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 Group CEO 吉田 芳明

事業環境と半導体テスト市場の動向 <23年10月時点の見方>

<事業環境>

- 世界経済は、中国の景気減速など回復が遅行。加えて、地政学的リスクの拡大や物価上昇、急激な為替変動リスクなど、依然として不確実性が高い状況が継続
- 半導体市場は、自動車や産業機器向けなどの一部の半導体需要は堅調。しかし、スマートフォンを始めとした主要な民生機器向け半導体需要の減少に加え、データセンタ投資も減速していることから、関連する半導体メーカーでの設備投資の抑制が継続

<半導体テスト市場>

- SoCテスト市場は、車載・産機向けでは底堅い需要が持続。高性能半導体向けでは、顧客サプライチェーンにおけるテスト稼働率は改善されつつも、回復に想定より時間を要する見通し
- メモリ・テスト市場は、民生機器向けでは需要の低迷が継続しているものの、生成AI向けのHBMやDDR5などの高性能メモリ向けでは、顧客の生産計画の増加や品質保証強化の動きに連動したテスト需要が増加

| | CY22実績 | CY23推定 |
|-----------|---------|--|
| SoCテスト市場 | 約\$4.0B | 約\$3.3B-3.4B (7月時点推定: 約\$3.2B-3.5B) |
| メモリ・テスト市場 | 約\$1.2B | 約\$1.0B-1.1B (7月時点推定: 約\$0.9B-1.1B) |

Source: Advantest

FY23業績予想

(億円)

| | FY22 | FY23 | | | | | | | (参考)新旧予想比較 | |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|--------|----------------|---------|
| | 実績 | FY22 | | 上期実績 | 下期予想 | 通期予想 | 前年度比 | | 7月時点 FY23予想 | 修正額 |
| | | 1Q実績 | 2Q実績 | | | | 増減額 | 増減率 | | |
| 売上高*1 | 5,602 | 1,013 | 1,162 | 2,175 | 2,525 | 4,700 | -902 | -16.1% | 4,800 | -100 |
| 営業利益 | 1,677 | 143 | 210 | 353 | 447 | 800 | -877 | -52.3% | 1,050 | -250 |
| 営業利益率 | 29.9% | 14.1% | 18.1% | 16.2% | 17.7% | 17.0% | -12.9pts | | 21.9% | -4.9pts |
| 税引前利益 | 1,713 | 130 | 203 | 333 | 452 | 785 | -928 | -54.2% | 1,035 | -250 |
| 当期利益 | 1,304 | 92 | 167 | 259 | 341 | 600 | -704 | -54.0% | 780 | -180 |
| 当期利益率 | 23.3% | 9.1% | 14.4% | 11.9% | 13.5% | 12.8% | -10.5pts | | 16.3% | -3.5pts |
| 研究開発費 | 601 | 149 | 165 | 314 | 326 | 640 | +39 | +6.5% | 630 | +10 |
| 設備投資 | 250 | 56 | 45 | 101 | 109 | 210 | -40 | -16.0% | 210 | - |
| 減価償却費 | 214 | 60 | 65 | 125 | 135 | 260 | +46 | +21.5% | 240 | +20 |
| 為替レート*2 | 1米ドル | 134円 | 135円 | 142円 | 139円 | 145円 | 142円 | 8円 円安 | 135円 | 7円 円安 |
| | 1ユーロ | 140円 | 146円 | 156円 | 151円 | 155円 | 153円 | 13円 円安 | 149円 | 4円 円安 |

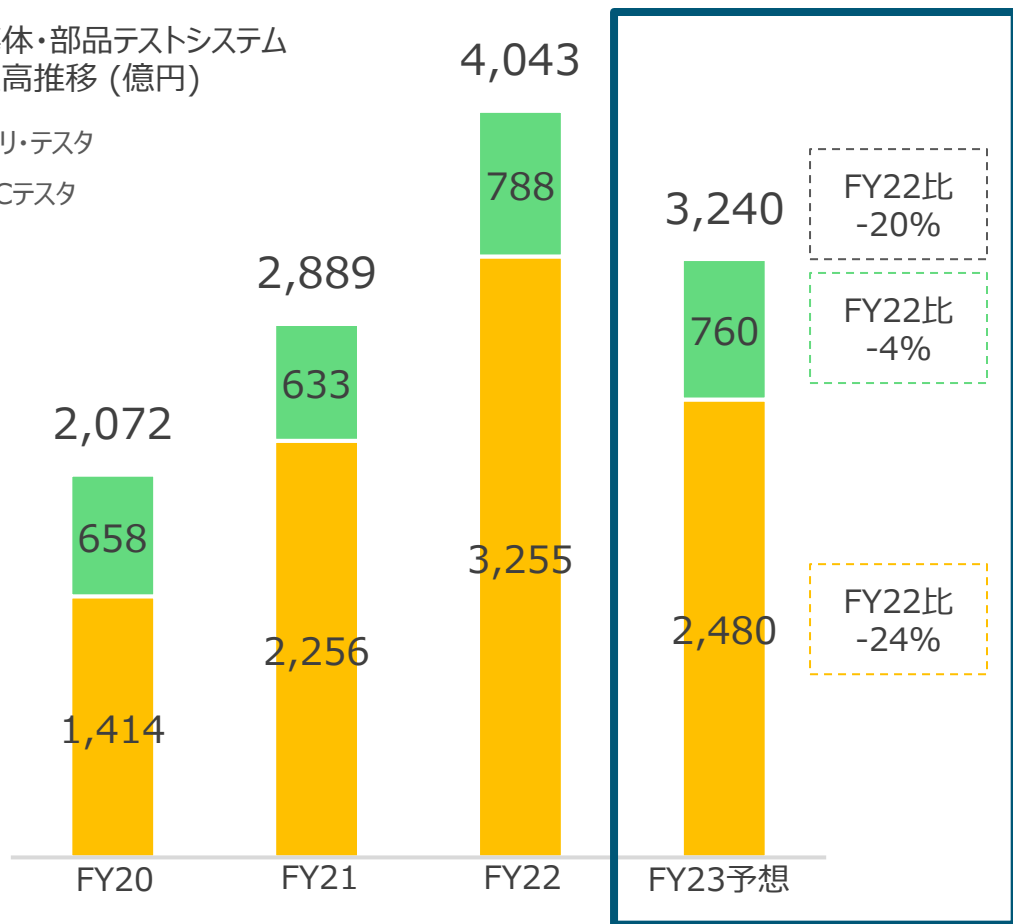
*1:合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

*2:為替レート変動が今年度の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円安時+9億円です。対ユーロは-3億円です

FY23見通し (事業別)

半導体・部品テストシステム
売上高推移 (億円)

■ メモリ・テスト
■ SoCテスト



半導体・部品テストシステム事業

<SoCテスト> (7月予想比 -200億円)

–成熟プロセス品向けは底堅いものの、スマートフォン市況の低迷を背景に先端プロセス品向けでの大幅な需要減を想定

| アプリケーション別内訳 | FY20 | FY21 | FY22 | FY23(予) |
|------------------|------|------|------|---------|
| コンピューティング・通信 | 55% | 60% | 65% | 55% |
| 車載・産業機器・民生・DDIC* | 45% | 40% | 35% | 45% |

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

<メモリ・テスト> (7月予想比 +60億円)

–不揮発性メモリ向けでは需要回復の兆しが見えない一方、DRAM向けではハイエンド品を中心に、顧客からの旺盛な投資を見込む

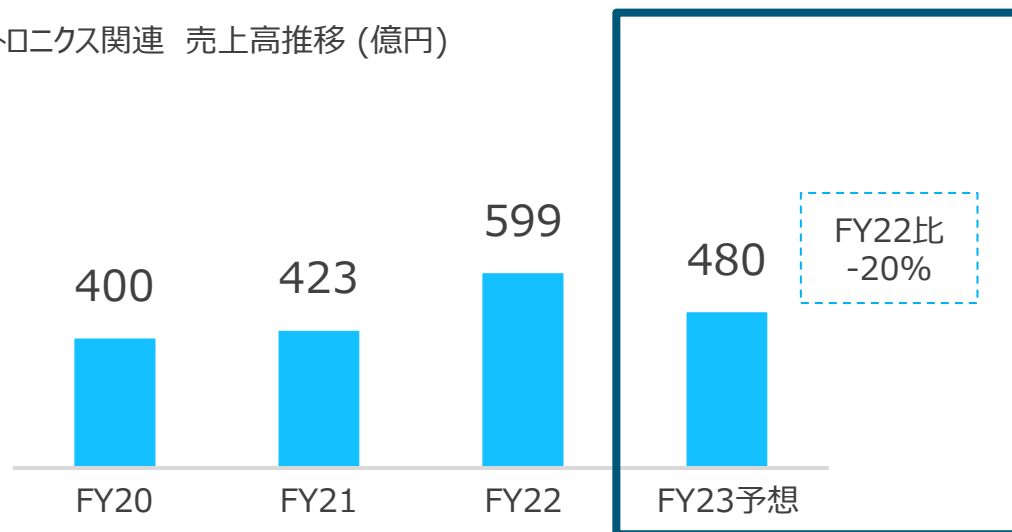
| アプリケーション別内訳 | FY20 | FY21 | FY22 | FY23(予) |
|-------------|------|------|------|---------|
| DRAM | 60% | 60% | 60% | 90% |
| 不揮発性メモリ | 40% | 40% | 40% | 10% |

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

* DDIC:ディスプレイ・ドライバーIC

FY23見通し（事業別）

メカトロニクス関連 売上高推移（億円）

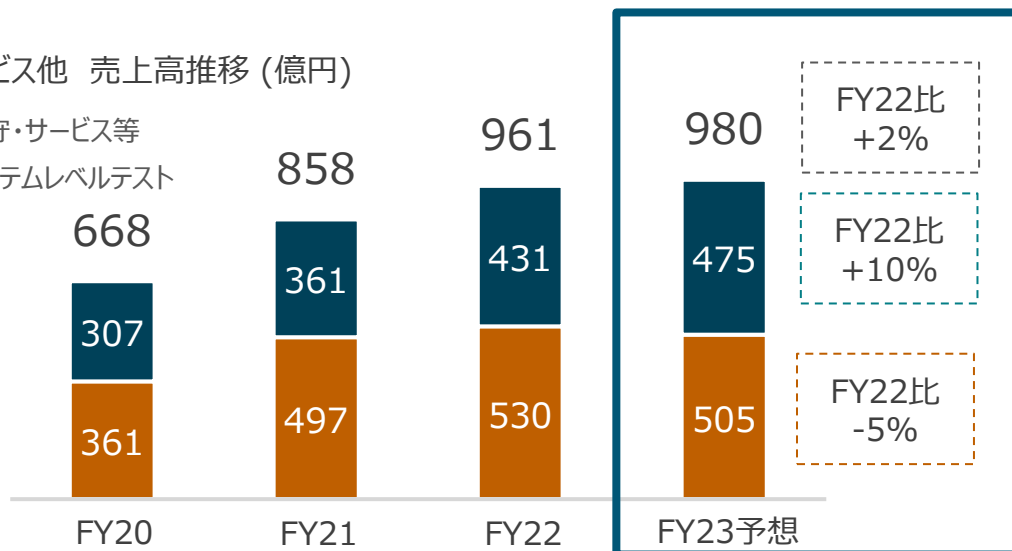


メカトロニクス関連事業（7月予想比 +60億円）

–メモリ・テストの売上予想引き上げに伴い、関連するデバイス・インタフェース製品やテスト・ハンドラの売上予想を引き上げたことから、7月予想比では増収見込み

サービス他 売上高推移（億円）

- 保守・サービス等
- システムレベルテスト



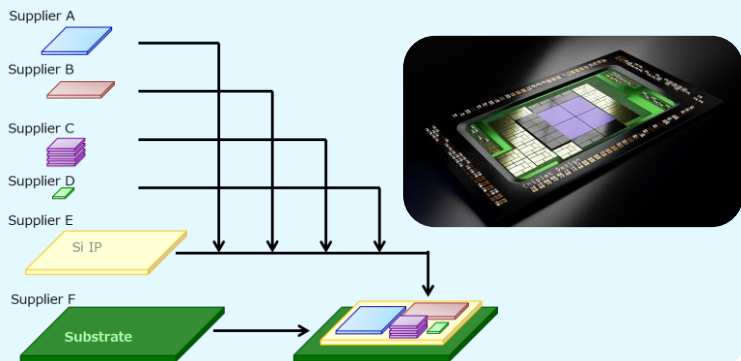
サービス他事業（7月予想比 -20億円）

–当社製品の設置台数の着実な伸びにより、保守サービスの需要は堅調

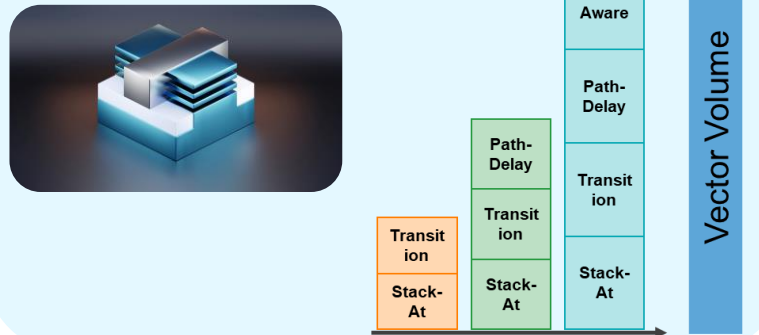
–システムレベルテスト事業は、半導体市況低迷を受けた顧客の投資動向の影響を受け、前年度比減収を見込む

生成AIがもたらす当社の事業機会①

2.5D/3Dなど先端パッケージの増加
テストの重要性増加により**テスト時間増大**



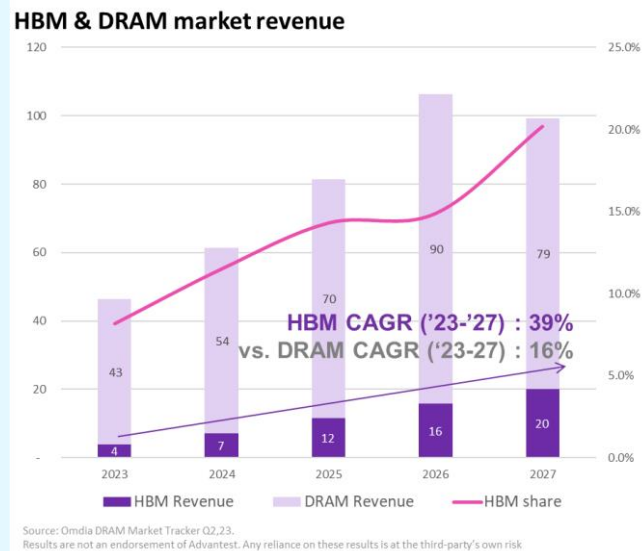
微細化・大規模化が半導体の複雑化を促進
新しい故障モデルへの対応などにより
テスト時間の増加



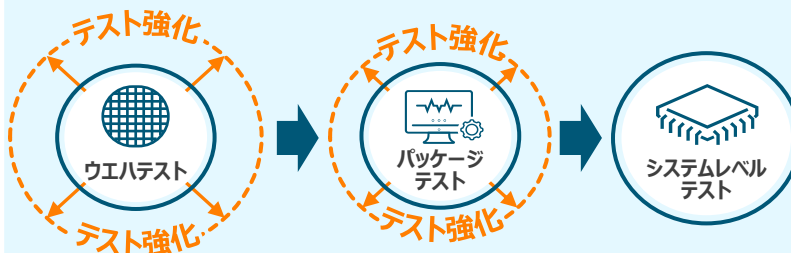
サプライチェーンの多様化
地政学的リスクヘッジにより
世界中で半導体の生産能力増強



HBM / DDR5など高性能メモリの増加



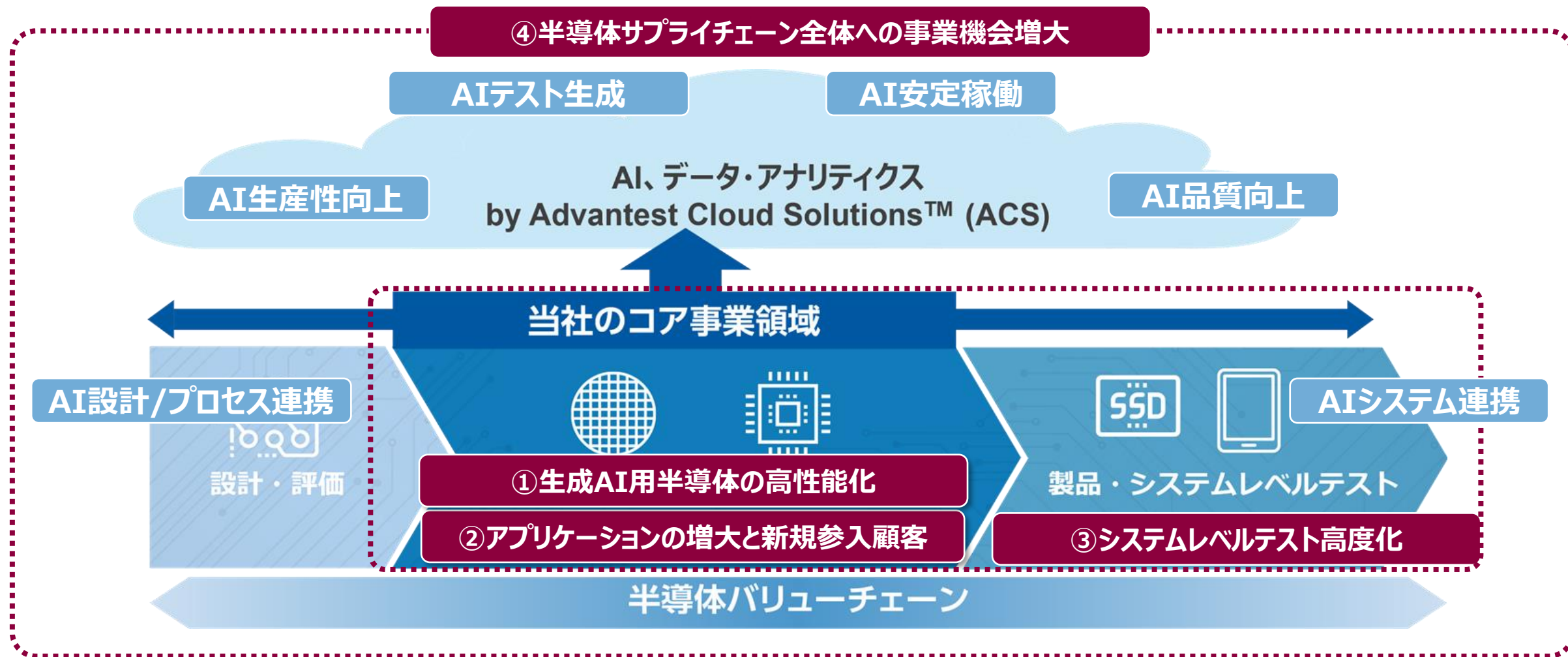
高機能化、複雑性増加から品質保証を強化
テスト工程の増加



半導体開発に新規顧客の増加
AI向けサーバーからエンドアプリケーションまで
多様なアプリケーションの開発競争



生成AIがもたらす当社の事業機会②



サマリー

• 通期業績予想を下方修正

- スマートフォン関連の需要回復の遅れに伴い、7月時点の予想より売上高は100億円引き下げ
- HPC/AIなど高性能半導体向けのテスト需要は上向くも、テスト設備の余剰消化にはなお時間を要す

• 生成AIがもたらす当社の事業機会は着実に進展、テスト需要は中期的に拡大

- 将来必要となる技術に対応する研究開発投資は継続（FY2022実績 601億円 → FY2023予想 640億円）

• 収益性改善の施策も強化

- サプライチェーン管理の高度化により、需要変動への追従力を強化
- 販売価格の見直し、原価低減活動などを通じた売上総利益率の向上
- 事業プロセスの見直し、不要不急なコストの削減
- DXを積極的に活用し、全社オペレーションの効率向上に向けた活動を強化

その他トピックス

- **統合報告書2023を発行**

※当社ウェブサイトリンク：<https://www.advantest.com/ja/about/annual.html>

- **サステナビリティ・データブック2023を発行**

※当社ウェブサイトリンク：<https://www.advantest.com/ja/sustainability/report/>

- **IR技術説明会(メモリテスト関連)を11月29日に開催予定**

ADVANTEST®